

括支払い等)、利用金額を減らす計画が重要と思われます。

- ④ 進学時だけでなく、進学後の状況等を含め、「進路選択相談事業窓口」と「ヒューファイナンスおおさか」

の連携が必要と思われます。

以上を通じて、進学時のみの相談だけでなく、相談内容からトータルな支援や協力機関等との連携が重要であると考えています。

施策紹介

キャリア教育の推進について

大阪府教育委員会事務局 教育振興室 高等学校課

大阪府教育委員会では、子どもたち一人ひとりに豊かな職業観・勤労観を育成するため、中学校段階での職場体験学習や高等学校段階でのインターンシップの実施など、子どもたち自身が自己の良さや可能性に気づき、それぞれが夢や希望を持ち、その実現に向けて努力していく過程をきめ細かく支援するよう取り組んでいるところです。

しかしながら、不況等の影響により若年者の就業をめぐる状況は厳しさを増し、フリーターなどが急増しはじめたことから、子どもたちが将来社会の中で自立できる能力や態度を身につけることが喫緊の課題となっています。

このため、2005(平17)年4月に、今後の大阪府におけるキャリア教育の基本的な方向性及び推進方策を示した指針「キャリア教育を推進するために」を策定するとともに、今年度から「キャリア教育推進事業」にも取り組んでいます。

指針「キャリア教育を推進するために」

3つの基本方向

- ① 小学校段階から高等学校段階まで一貫した系統的・継続的な取組によってキャリア教育を推進する。
- ② 学校の進路ガイダンス機能を充実して、子どもたちに対して適切なガイダンスを実施する。
- ③ 学校、家庭、地域社会、企業などがキャリア教育の有用性を共に理解し、それぞれの立場で参画することにより、社会全体で子どもたちを育てる気運の醸成を図る。

9つの推進方策

- ① 基礎基本の学習の徹底と「能力・態度」の育成
- ② 小・中・高等学校の連携による一貫した進路指導の充実と改善
- ③ 将来の職業像を見すえた学習の意義づけ
- ④ 社会や経済の仕組みなどについての現実的理解の促進

- ⑤ 自立意識の涵養と豊かな人間性の育成
- ⑥ 学校教育活動全体を通じた取組の推進
- ⑦ 教職員の理解と実践の促進
- ⑧ 保護者などの共通理解、協力の推進
- ⑨ 企業や関係機関などとの連携

キャリア育成推進事業

この指針を踏まえ、今年度から3年間にわたり、大阪商工会議所が中心となって設立した「大阪キャリア教育支援ステーション」と連携しながら(図1)、キャリア教育を総合的に推進するため「キャリア育成推進事業」に取り組んでいます。その内容は次のとおりです。

① キャリアコーディネータの派遣

キャリアカウンセラーの資格を持つ民間人を府立学校に派遣し、生徒へのカウンセリング、体験学習のコーディネート、生徒・教職員・保護者への講演・研修などを行います。

② ハイパーインターンシップの実施

府立高校生を対象に、長期休業中を中心に企業等で1～2週間の実習を行い職業や仕事に関する現実的理解を深め、成就感や自己有用感などの獲得の機会とします。

③ キャリア教育実践事例集の作成、キャリア教育学習プログラムの開発

府内公立学校におけるキャリア教育の先進的な取組を集約した事例集を作成し、さらに有識者の監修のもと、キャリア教育の学習プログラムの開発を行います。

④ キャリアカウンセリング基礎講座の実施

府内公立学校教員を対象に、キャリアカウンセリングの基本的な技術・知識についての研修(3日間)を行います。

⑤ キャリアガイダンス実践研究会の開催

校種間の連携による系統的・継続的なキャリア教育についての実践研究を進めるためにシンポジウム等を開催します。

図1

- ・子どもたち一人ひとりに豊かな職業観・勤労感を育成
- ・主体的に進路を選択する能力・態度の育成

